

「ワンルーム・テスト」

－替え唄づくりに学ぶ魅力品質向上のコツ－

JaSST 東京実行委員 和田憲明

あらまし 今回の替え唄づくりをふりかえり、リリースまでの作業を工程に分け品質向上について考察した内容を紹介する。満足できる歌詞づくりのためには実際に繰り返し唄い磨き続けることが大切である。歌詞の候補は実体験をベースにすることで多くのアイデアが湧き、同時に過去を見つめ直すきっかけにもなるのでお勧めしたい。

1. はじめに

唄は世につれ、世は唄につれ。私は2007年から替え唄を作り社内や社外で発表を行ってきた。以下にその一覧と発表年を記す。

替え唄	原曲	社内	社外
アジャイルは勝つ	愛は勝つ	'07	'07
バグなのに	春なのに	'08	'10
アジャイルマン(PDCA)	ヤングマン(YMCA)	—	'09
淋しい推進室	淋しい熱帯魚	'09	—
ワンルーム・テスト	ワンルーム・ディスコ	—	'11

2. 替え唄をつくる

今回は1.5週間前から準備を始め、リリースすることができた。昨年のLT資料[2]で論述した通り、タイトルとサビについてぴったりくる新しい歌詞が思いついた時に完成まで作業し続ける気力が生まれる。以下に替え唄の作り方を工程別に紹介する。



IS(Inspect-Select-songs)工程では、1980年代～今までの曲を次々と思いだしながら、タイトルとテスト関連のキーワードを比較し替え唄になるかどうかを考えた。私が愛用しているツールは「青春歌年鑑」シリーズである。幅広い年代とジャンルをカバーしており、高い網羅性という観点でお勧めできるツールである。

FS(Feel-good-Sabi)工程では、サビやそれに準ずる歌詞に対して替え唄を考えた。この工程はなかなか完了基準まで到達せず、前工程に戻ることが多々ある。とても根気が必要な作業であるが、めげずに試し続けることが大切である。コツはMusicPlayerを1曲リピート状態にして徹底的に聞き込み、原曲の世界観を理解することである。これまでの経験では、タイトルに加えてサビもOKになった曲については、リリースまで進むことが多かった。

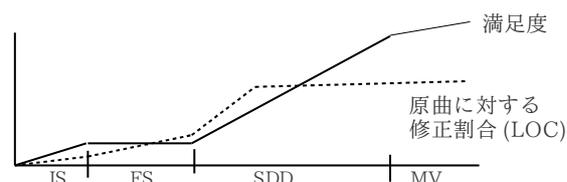
SDD (Sing-Driven-Discover) 工程では、歌詞を携帯のメモ帳に保存し通勤時にMusicPlayerを聞きながら歌詞をつぶやき、メモ帳を更新する作業を繰り返した。唄えば唄うほど発見があった。「液晶を開けても見慣れないOS」や「終電で帰りたいんだ」の部分などが徐々に出来上がってきた。工程終盤では、フィナーレの「来年もJaSST」を思いついた。

MV (Make-Video) 工程は直前の週末に行なった。作業時間は6時間程度だった。使用したツールはWindows Movie Makerで、とても手軽に使用して本当に助かっている。今回は新たに「画面切り替え」機

能を使用してみた。また、発表のための工夫として、替え唄ビデオの前に数十秒程度BGMを付けておくと、直前の音声テストになり、発表時に気持ちを落ち着けることができる。

3. SDD工程で魅力品質を高める

SDD工程では、原曲を聞きながら歌詞を見直すことを繰り返した。原曲に対する修正割合(LOC)は初日で70%程度まで高まるが、実際に唄ってみることで次々とアイデアが生まれ、繰り返し歌詞を変更した。全作業の中で、この作業が一番楽しい。興味深い点として、2日目以降のLOCは70%前後を推移するが、歌詞を変更するたびに満足度(魅力品質)が向上する実感を得ることができた。

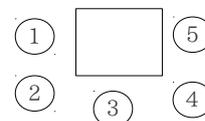


4. 実体験を盛り込む

ひとそれぞれ苦勞の歴史があり、良い思い出もそうでないものもあることだろう。ここでは、黒歴史をあえて替え唄にしてみることで、過去をふりかえり前向きに見つめ直すきっかけになることもであると提言したい。そのためにも、替え唄は実体験をベースに作成していただきたい。今回の替え唄も某所でのテスト作業の様子を唄っている。

ひとつの事務机に5人で座っていた時、私は4番の位置だった。足を伸ばせないのはもちろんのこと、股関節がかなり痛くなったが、唄に盛り込みづらかったので割愛した。

また、夜食は近くの中華屋に通うことが多かったが、替え唄では吉野家にした。



5. 唄う

替え唄はLTセッションのクロージング時に唄わせていただいた。ワークリーダの田中氏とドラ娘こと永田氏には、セッション開始まで1時間半という直前に踊りのサポートをお願いしたにも関わらず、快くお引き受けいただきありがたかった。そして、フルコーラスをお付き合いただき、フィナーレではいっしょにノってくださった会場のみなさまには大変感謝している。

5. 今後に向けて

アジャイルとテストについては、関連するそれぞれの社外イベン

トで唄わせていただくことができ、目標を達成した。手持ちの替え唄の中では、改善推進組織の苦悩を唄った曲「淋しい推進室」が社外未発表であり、それを社外発表することを目標として日々精進したい。

次章で今回の替え唄を掲載する。ぜひ原曲を聞きながら一度口ずさんでいただきたい。最後に、替え唄づくりの楽しさが少しでも広まり替え唄に挑戦される方が増えることを願う。

6. 歌詞

「ワンルーム・テスト」

～小部屋に呼ばれたテスト技術者の悲哀～

ワンルーム・テスト テスト テスト ワンルーム・テスト

※繰り返す

なんだって少なめテストの工数 だけど責任は重い気分も重い
液晶を開けても見慣れないOS ちょっと落ち着かないけれど
そのうち楽しくなるでしょ

新しい場所でうまくやっていけるかな

タスクを片付けて応援に出かけよ

遠いLANの向こう キミは何を思うの

たぶんできるはずって思わなきゃしょうがない

テスト テスト ワンルーム・テスト

※繰り返す

なんだって少なめ半分のスペース だけど気になる人数密度は高い
ひとつの机に5人で座って 足も伸ばせないけれど

そのうち慣れてくるでしょ

新しい場所でうまくやっていけるかな

バグを追っかけて 寝袋でスヤスヤ

今日はなんだかねトラブルもないし

終電で帰りたいんだ ワンルーム・テスト

デスマみたい 待ちの姿勢が真実を見えなくなる

たくさんの悲しいバグで 心折れちゃいそうだ

新しい場所で うまくやっていけるかな

タスクを片付けて 吉野家に出かけよ

遠いLANの向こう キミは何を思うの

たぶん終わるはずって思わなきゃしょうがない

(セリフ)

今日はなんだかね 面白いことばかり

テストを楽しみたいんだ 来年も JaSST

JaSST JaSST 来年も JaSST

※繰り返す

文 献

[1] 「ワンルーム・ディスコ」 2009年

作詞 作曲: 中田ヤスタカ 唄: Perfume

[2] 「バグなのに」 2010年 和田 in JaSST'10 東京 LT